

## 研究の概要

助成年度・種別	2014年度 一般研究助成
研究代表者	堀江 まゆみ
所 属	白梅学園大学
研究テーマ	障害触法行為者の支援に向けたトラブルシューターと性犯罪再犯防止SOTSEC-ID
研究の概要  (助成申請書の要約)	<p>知的障害や発達障害のある人が地域で暮らす中で、地域社会との間でトラブルが生じたり触法行為を犯し司法手続きに問われることは少なくない。しかし刑事・司法手続きで十分な理解がないこと、社会に受け皿や支援体制が十分でないこと、障害特性に応じた矯正プログラムが少ないこと、などから再犯リスクが高まることなどが指摘されている。</p> <p>本研究では、知的障害・発達障害のある触法行為者の再犯防止支援に向け東京エリアをモデル地区とし以下の研究を行う。</p> <p>第一に、地域でのトラブルを早期に解決し、障害特性に配慮した刑事手続きの支援や社会的支援を行えるような人材「トラブルシューター(TS)」養成を行う。福祉や司法、教育、福祉、医療などに携わる人たちや家族が担い手となる。ネットワークを組み、地域および刑事手続きの「入り口支援」(主に、起訴前後)への活用を実践する。</p> <p>第二に、性犯罪加害再犯防止のための地域包括的支援システムの構築を検討する。イギリスの性犯罪再犯防止プログラムSOTSEC-IDを日本版に改定し東京エリアをモデル地区として実践する。</p> <p>本研究により障害のある人もない人もともに安心・安全に暮らせる共生社会創りをめざしていく。</p>
選考委員からのコメント	<p>今日、知的障害・発達障害のある触法行為者に対する再犯防止支援は緊急の課題である。本研究は、高度な専門性を有する研究者の共同研究である。しかも、医療のみならず、心理、法律、福祉といった幅広い分野の学際的研究であり、研究成果に期待が持てる。</p>